

大学名 お茶の水女子大学

第72号 特集テーマ「データ人材の育成」

表題 人文科学を題材にしたデータサイエンス教育による女性データ人材の育成

文理協働のカリキュラムでデータサイエンスを学ぶ

お茶の水女子大学では、文系学生への興味を持ちやすさを重視して、文学作品を題材としたデータサイエンス科目を全学科目として開講している。

授業では、文化情報工学の目的に即して人文・社会分野のデータを用いることにより、統計的なものの見方や考え方を理解し、課題発見力および課題解決のためのデータ分析の実践力を身につけることを目的とする。

例えば、人文学の対象をデータサイエンスの手法で分析し、情報工学の技術と結びつければ、新たな文化や価値を創造することも可能となる。文学作品のテキストデータをデータサイエンスの手法で分析し、その結果を可視化して用語法などの文体の特徴を解明すれば、新しい文学の創生に役立てることができる。

期待できる成果・評価

文系学生や女子学生のデータサイエンス修得者の増加に貢献し、多様な学問・多様な産業に人材輩出を目指す。



女性データ人材の育成



お茶の水女子大学 文理融合AI・データサイエンスセンター
<https://www.cf.ocha.ac.jp/ai-ds/index.htm>
<https://www.cf.ocha.ac.jp/datascience/index.html>